（1）　昭和21年6月1日（第三種郵便物認可）　昭和24年2月13日　いわき民報　夕刊　（日曜日）　第843號

いわき民報

平市田町四八　電三八一
編輯兼發行人　千輝克己
印刷人
日刊　但月曜を除く
定價一月四十円　一部一円五十錢
發行所　いわき民報社

市長の知らぬ「建築許可要望書」

ダンスパレス　フラワーに絡み問題化

市街地の眞中にある工場や劇場等は從來から何處の地でもその騒音とか衛生上とか種々の理由から近所の町民からきびしい批判の的となつているが、平市に最近發生した時代の寵兒「ダンスホール」建築許可問題にからみ偶々醫家が外科病院であることから『誰がどうして認可したか』と假絡問題化して街の話題を賑わしている即ち市内田町料亭「花村」（經營者木下けい）氏經營のダンスホールはこの程建設省から建築許可をうけ營業許可も市公安委員會からうけて華やかに開店ダンス愛好家に喜ばれているがこの建築許可申請に要する市長名儀の『許可要望書』が市長の全く知らぬ内に係の土木課事務主任平市役所職組合長鯨岡多久氏の手で作成提出された事が明かとなり更にその鯨岡氏が從來からの慣例上要望書と相違したことを要望書に記載したと語つたため假絡問題は重大化している

從來の慣例上で書く

鯨岡市土木課事務主任の談

鯨岡氏は十二日朝つぎのように語つた

從來からの慣例上私が要望書をかき市長名儀で監督官廳へ提出した、いままでの仕きたりで本當のことを要望書にかいては許可はでないことは明らかなので花村の場合生活に困窮しているからと書いたが、これは一件だけでなく、いままで殆んど全部そうやつているのだ、インチキといわれても仕方がないが自分としてはあくまで町の發展のため考えてやつたことだ、悪ければ責任はとる

權限以外の越權行爲

阿部助役談

右について阿部市助役は語る

事務主任が斷りなしに勝手に要望書を書いてしかも市長名儀で出す事は許されないと思う、事務主任にそんな權限はない、公文書僞造になるかどうかは言えないが越權行爲であることは明かだ

町の發展の爲許可

土木監督所主事談

建築許可の申請をうけた平土木監督所佐藤主事は次の樣に語つている

申請はうけた、こばむ理由がないので町の發展のため許可した、後で二、三の病院から陳情されて初めて解つたわけで自分でも驚いている

眼鏡專門
各眼科醫指定
玉屋
平市二丁目　電話91

登録に對する意見を聽く會

市配給課では十五日午後一時より水産物の登録について業者並に消費者の聲を聞くため同課で登録に對する意見を聞くの會を開く

箕輪座談會

新訴訟法と檢察審査會法につき

箕輪村第二小學校では青年團並に婦人民主クラブと共催で新刑事訴訟法並に檢察審査會法の普及徹底をはかるため十三日午前九時から大利公民館に平地區署柴田次席並に司法主任を講師として座談會を開く

未加入組合加入促進

十四日平地區勞評議員會で

平地區勞評議員會は十四日午前十時三十分から市内マルトモホールに開き公安條令に關する反對鬪爭、及び勞働戰線の統一の點から地區勞未加入組合の加入促進策等について協議するほか規約一部改正に就いても打合せる

農村青年講座を開設

新町農建設を目指して磐農高で

男子十四日、女子二十一日から

新農村の建設は農村中堅青年養成にありとして磐城農業高校では植田町東京山の全校に十四日から十九日まで六日間第三回農村青年講座を、更に二十一日から二十六日まで六日間は第二回女子青年講座を開催、農村建設に必要な基礎的理論及び技術を授け、合理的經營の發達に資するとともに併せて公民的文化的教養を授けることになつた、講師並に日割は左の通りだが、特に作家富樫有爲男氏も出講することになつている、聽講料は五十円である

【男子部】◇十四日農村と文化（田附校長）水稻直播栽培の課題（堀教官）◇十五日農業恐慌に對する農業組織（鈴木教官）農村青年と思想問題（富樫有爲男）◇十六日未定（縣社會教育課佐々木幸）甘藷二、〇五六貫をこうしてとつた（篤農家曾川一）◇十七日科學的椎茸栽培（森武改良種發案者森昇作農學士肥料不足對策の實際（木村教官）◇十八日今後の日本農業と青年の進むべき道、麥作改善の重點（石川教官）これからの日本畜産について（星野教官）代表的藥劑の使い方（上遠野教官）◇十九日これからの養蠶（鎌田教官）電熱溫床と醱熱溫床の比較（蛭田教官）【女子部】◇二十一日農村婦人の解放と生活改善（田附）農民の保健衛生（木村）農業科學（佐川）◇二十二日農村生活の科學化（鈴木）女性の教養（富樫有爲男）◇二十三日婦人服原型のとり方（古川）◇二十四日生化一般的智識（高木）生花の水揚げの仕方及生け方（全）◇二十五日言語の應對日常の心得（全）婦人用ブラウス及びズボン型紙のとり方（古川）◇二十六日農村向料理實習（蛭田）なお男子部も女子部も最終日の午後は聽講生逐の研究發表會及び座談會を開催することになつている

民報論壇

兇悪犯罪について

新年に入つてからも兇悪犯罪は依然として多く平市長橋の二人組強盗事件をはじめ營林署の二人組強盗、湯本町の三人組強盗、内郷と仲間町の強盗、田人村の老婆殺し事件等次から次と發生、市民を戰慄の淵にたたき込み此のほか窃盗事件等は日常茶飯事の有樣である、而して一月から施行された新刑事訴訟法は人權を必要以上に尊重し、容疑者に默秘權を與え不利益なことは供述しなくとも差支ないことになつた爲め警察當局の犯罪捜査に困難を極め檢擧能率は非常に低下して來た、即ち犯罪捜査の方法が舊態依然であるため檢擧能率が上らないのであるが、現在の捜査施設にては已むを得ないであらう、それで科學的捜査諸施設を整備すると共に捜査官吏の知能を一段と向上しなければならぬことは勿論であるが斯うしたことは早急に實現することはむづかしいので、犯罪の防止と檢擧は單り警察にのみ依存せず民衆の力によつてなさねばならぬ破目になつて來ている

それで警察と市民が協力してこれに當るならば少からず成果が擧がるものと思はれるがその協力者は主として青年がよく、本市の場合なら各地區青年團員の蹶起を得て、自警團とか警察協力團と云つたような團體を造り、警察はこれに犯罪豫防法の知識を植えつけるとか捜査に必要な常識を與えて捜査の下働きに活動せしめるとか、或は猛犬を飼育して防犯に備えるとかの方法を講ずべきである、無策無爲にして只兇悪犯罪におびえている丈では情ない、公安委員會等は斯うした問題について積極的に研究し實施することが必要でありそれも緊急に施策すべき時期であるので關係方面の喚起を促すと共に一日も早く石城の天地から兇悪犯罪の不安を一掃するやう願うものである　（田原）

石門心學會

あす特別委員會を

石門心學の普及を目指す磐城石門心學會特別委員會は十三日午後一時から平市才槌小路磐城文化協會事務所に開き普及方法及び會の結成、運營等について協議するが、特に石門心學の權威磐崎村出身、磐中第二十九回卒業で現在東京調布中學校長黑田源六氏も出席することになつている

上平窪慰安會と修養會

平こどもハトの會では上平窪青年會と共催で、十三日午前十時から修養講座と慰安會を開く、一部を慰安會として幻燈、童話、二十の扉等を行い子供たちを樂しませ、二部を修養講話会とするが、講師は左の通り

協組常務理事鈴木政一、PTA副會長永井誠、金成豐子、上平窪區長鈴木德男、こどもハトの會西村幸藏

配給　板ガラス

市配給課では縣より二十三年度第二、四半期分微量需要者用板硝子の割當が市内の申請者中から八十三軒に對し行はれたのでこれが該當者に對し十四日より三日間同課で行う

平税務署の公賣續く

滯納整理熾烈化

滯納整理にのりだした平税務署では十四日午前十時より市内の電話加入權三件を競賣に附し更に二十二日午前十時から市内某製作所のモーター二台、トラック一台及び某會社のモーター一台、五號金庫、タイプライター、事務机入側を公賣處分する、なお同署では目下管内の滯納整理を急速にすすめているので十五日ごろには約三十件の差押物件を競賣公告する豫定である

小名濱經濟委員會

小名濱經濟委員會は十二日午前九時から開いて第二小學校建築諸問題等を協議

專門委員を五班に分けて調査

本年產米町村別割當決定に二十六日に初の打合會を開催

郡市供米完遂の祝賀と本年產米及びイモ類供出割當數量決定に對する第一日地方農調委とを兼ねた協議會は十日午前十時から平市公會堂日本間に各町村長農調委員ら出席開催、午前中は郡下の割當數量の町村振當方法に就き協議した結果、地方農調委員會内に五班の專門委員會を設置各班別に打合會を開き前年割當の基礎資料の總村及び耕地調査による地力の査定等により決定することになり十六日午前十時から地方事務所に初打合せを行うことになつたなお午後は大和田副知事臨席のもとに完遂祝賀會を開き盛況だつた

△第一班神谷、草野、大浦、四倉、大野、夏井、高久（委員金成仙治、箱崎半吾）△第二班飯野、平、好間、赤井、上下小川、川前、永戸、箕輪、瀬波三阪（委員竹内万吉、福田長一郎、高萩凱）△第三班渡邊、上遠野、入遠野、磐崎、湯本、内郷、（委員山崎五三、福田七郎）△第四班泉、小名濱、鹿島、江名、豐間（委員阿部東郷、四家寅雄）△第五班植田、山田、錦、勿來、川部、田人（委員横山太一、小野金兵衛）縣委員木村幸雄・高木武一郎兩氏

黑澤喜一君表彰

竊盗犯人逮捕で

平地區署では竊盗犯人を獨自で逮捕した小川村關川字香後農黑澤喜一（二八）さんを近く金一封を副えて表彰する

黑澤さんは去月十九日深夜石城郡上高野字浮田農竊盗犯關和田稲七（五七）が自宅に押入り物品を盗み逃走するところを追跡、獨自で逮捕して平地區署に突き出したもの

好間校の榮譽

毎日新聞社主催で去年十月擧行された全日本子供美術展覽會に好間第一校の兒童たちが出品した作品が全國八千一百十一點中から拔選され見席五年生の新城英夫強田剛の二君が入選した、この程賞品が贈與された、なお郡下では同校だけ

好間の變死體

十三日午前十時頃好間村上好間小田炭鑛所屬平坑附近に身元不明の變死體があるのを全坑從業員志田鉄三さんが發見平地區署に屆出た

昨冬十二月十三日以來行方不明となつている大越と云う平坑機電係員ではないかと見られている

いわき寸言

◇野波興業で木炭のヤミ値丸公を下廻る、イヤ有難いことですナ

◇平税務署の滯納整理嚴し、ついでに脱税摘發も手嚴しく願いたし

◇建築許可は生活困窮者以外は駄目とおつしやる、家をたてる困窮者とはうれしい困窮者お役人も甘いですナ

未申告者は注意

所得税の更正、決定準備始まる

所得税の申告納税状況は平税務署管内では三萬一千件程度で好成績であるが一部にまだ申告していない向があるので至急誠實な申告をされたい、申告義務者が申告をおこたると二月一日から日歩十錢の加算税がつくばかりでなく追徴税や罰則が適用される場合があり、かえつて不利となる、このため税務署は早くも無申告者の決定準備を開始した、なお申告濟の向でも申告所得が過少の場合は、今月中修正申告すれば追徴税を免除される場合があるし、一月中に申告はしても納税しない場合は延滯金、日歩二十錢を追徴されることになるから至急納税して欲しい

平税務署

謹告

毎度乘車有難度御座います弊社儀今般平驛構内駐車御認可を機とし平市を中心とする各路線の自動車は大方皆々様の御要望にこたへ本月十六日始發車より總て平驛構内より發着致すことに相成りました

右御案内方々御通知申上ます

昭和二十四年二月十日

常磐交通自動車株式會社

急募

女子事務員若干名

但し珠算に堪能なる方で成るべく市内在住者を望む

優遇す

委細面談の上

姓名在社

父[illegible]儀病氣療養中の處二月三日午後四時永眠仕候就ては生前の御厚誼を深謝致し此段御通知申上候

追而二月十三日午後一時當宅出棺菩提院に於て佛式により告別式執行可仕候

平市四丁目八番地（万屋）
喪主　鈴木敏之

長男卓儀去る二月十一日午前九時五十五分死去致しました生前の御厚情を拜謝し謹んで御知らせ申しあげます

追而葬儀は二月十三日午後一時自宅に於て告別式を相營み申します

昭和二十四年二月七日

平市大町四番地
父　高橋義
親戚總代　高橋松五郎
友人總代　天野幸郎

大罪の蔭に咲く悲戀物語
田人實母殺し余聞
村祭の夜の一目ぼれ
だが遂に打開けかねた內氣もの

十日午後五時頃追跡の刑事に逮捕された實母殺し犯人猪狩今朝一（二七）は翌十一日午後二時頃身柄を植田地區署に押送され犯行の一切を自供したが何が故に彼をこの實母殺しの大罪を犯すまでに追いやつたか？それには來る春をも待たず散り崩れる寒椿に似たあわれな悲戀物語が祕められていた

今朝一は小學校卒業後東京都王子區上十條の某藥局店に働きその後海軍工廠に徵用され更に戰爭と共に北支に應召、兵長となつて二十年十二月復員して田人村に疎開した父親清一郎さん方に身を寄せ以來開墾仕事の手傳をしていたが昨年春、村祭りの夜同村の娘某（二五）と出會つて以來ほのかな想を寄せる樣になつた「ヒナには稀れな」の古諺通り下ぶくれした美しい彼女の勤勞姿は何時しか今朝一の胸底深く燒きつけられてその戀心は日と共に昂まるばかりであつたしかし一目でもとのあふれる彼女への思慕の情にかられ彼女の家までさまよい歩いた事も何度かあつたが生來內氣な今朝一は已れの胸の戀心を遂に打ちあけ得ず獨りあらぬ空想にふけるばかりであつた

打開けた時は婚約濟
以來狐つき的な神がゝりに

二十三年も秋漸くたけなわになつた頃、彼女が他處へ嫁ぐ噂を聞いた彼は驚いて母フミさんにその想いを打ち開けたしかし時は既におそく最愛の息子のためと交渉に行つた母が聞いた話は新正月頃山田村へ嫁ぐこととなつた由であつた、今まで切ないほど想いつめていた今朝一の落膽ははたの目も驚くほどひどかつた、しかしなお一縷の希望を棄て兼ねた今朝一は更に自ら氣弱な內氣な性質にむち打つて彼女の家をたづねたが先方の答はやはり冷たかつた、それでも今朝一はひるまなかつた、彼女だけには必ずこの氣持をくんで貰えると確信していた彼は更に彼女を盛大に迎える資にもと十一月の末から十二月一杯約四十日の間文字通り死にもの狂いの有樣で夜を日に徹して炭燒きを始めた、兩親や親戚の止めるのもきかず骨をけずる想で働き續けた甲斐もなくやせほおけた彼に與えられたものは想う人の結婚式の日取り決定の報せであつた百目ろうそくの光にてらされ文金高島田のあで姿も美しく嫁に行く彼女を見て以來今朝一のはりつめた片想の糸はプッツリと途切れて終つた、以來彼は「狐つき」の樣な神がかり發作狀態を起す樣になつて終つたのである

死を覺悟しあの兇行
自分でも判らないとさびしく語る彼

すつかり厭生的となつた今朝一の心情は一家の同情の的であつた、ことに母フミさんは息子可愛いさから「自殺しよう」となげく彼に同情を惜しまなかつたようで兇行當日について今朝一は「母とともに死のうと考えて母を窓側につれて行き「天照大神をおがませるから」と兩手を合せてすわらせ、おがんでいる横合いから菜切庖丁で咽喉をさしました、すぐ自分も死のうと考えましたがおそろしくなつてできませんでした、自分でも何か狐につかれているようにあの時は考えていまし」と係官に述懷している

捕われるまでの彼

實母フミさんを殺した後今朝一は八日夜は才鉢山を一晩中物につかれたようにあるきまわり翌九日空腹にたえかねて全村貝止大松澤炭燒き福田幸次郎さん方により「天ノ川から來た、何か仕事をさせてくれ」と詐り同夜はそこに一泊その禮として血コンの附着していたズボンを置いて翌十日全村石住の遠藤市太郎さん方に立ちより、遂に追跡の飯塚刑事に捕われたものであつた

植田驛での列車取締
惡質送檢は四名

植田町署では十日隣接各署の應援をうけ植田驛で常磐線上り列車四本を臨檢取締りを行つた

總件數三十四件、送檢四名、無主物十五個、押收物資米九十六キロ、魚油一斗三升、魚介類二十一貫、麥類三キロ、牛、他に昨報の三井吳服店の反物九十反がある

矢鄕鑛解雇問題再調査
決定は十八日の地方勞委總會に

矢鄕炭鑛の解雇問題は勞調法第四十條違反して縣石特勞委の裁定の儀、十日午前九時から福島市大町林業會館に開催した縣地勞委總會によつて審議された當日地勞委の出先機關縣石特勞委員の武田、松本中山の各委員並に加藤事務局員らが出席報告の說明を行つたが會社側が生産阻害者との理由で解雇した具体的理由として同問題解決のポイントとされている昨冬二十三日のスト前日に貨車止めした事情が判然とせず勞資共に食い違つた見解から再度調査しなおしと決まり次回十八日の縣地勞委臨時總會によつて裁定することになつた、なお勞地委調査委員として田畑金光（勞働者側）大場邦雄（使用者側）中山喜男（中立）の各委員と縣石特勞委事務局長の四氏が任命され十四日午前十時半から現場で調査することになつたが同炭鑛、職、勞の二組合と會社側のデリケートな關係からその調査はなかなか困難なものとみられその成行が極めて注視されるに至つた

素晴しい學校放送
好間第一校が新鋭設備で

視覺教育と相俟つて聽覺教育の重要性が論ぜられている折柄、好間村第一小學校ではこの程全國でも珍しいと言われる學校放送設備を東京の聯合通信から購入した、これは從來同校で使用しておつた三十W放送設備よりもグット音聲のよい六十Wミリオンで時價十四万円という豪壯なものである、これによつて各級毎に設けてあつた從來のマグネチック（擴聲器）からダイナミックにするんだと兒童達は早くもこおどりしてよろこんでいる同校は郡下でも兒童數が一番多く二千七百余名の數多さで本年四月の新兒童の入學を控え現在の三十八學級が四十一學級と增加するので、これを機會に、今まで貯蓄したバザーの賣上金運動會の寄附金、PTAの協力醵等により購入したもので、校舍の古さに朽ちた校內もこのダイナミックの美しいメロデーに師弟の歡喜が一杯にたゞよつている

木炭生産好調の一途
一月の遂行率一三四パーセント

暖波異變

暖波異變で木炭のヤミ値は丸公より値下りしこれでは近々木炭の檢査規格が改正され、從來の堅、雜の二本立てから昔の樣に數種の品質が設定されるのではないかと業者間問題とされているが早くも郡下の木炭生産狀況をみると本年の生産割當量（四月＝三月まで）は年間千六十八万九千二百名に對し一月迄の生産累計が八百六十二万四百二十キロで八十%の遂行成績となつており、去年四月から一月までの累計割當は六百七十二万五千二百キロで一月までの出炭が八百六十二万四百二十キロと輕く一二八%の遂行成績を示めしている、それに例年出炭低下を余儀なくされる一月が本年は天候溫暖で百六十八万キロ目標に對して二百二十五万七千二百キロと一三四%の好成績とある、なお山元滯貨も案外に少く八十四万キロで例年の三分の一程度に減つている

ヘマな空巢泥

十日夜九時頃北海道小樽市生れ住所不定無職渡部幸三（四二）は湯本町三函坑夫佐藤德美さん（一九）方勝手口の雨戶をこぢ明けて忍び込み女物フエルト一足を盜み更に座敷に上つて物色中、風呂から戾つて來た德美さんに發見逮捕され湯本署に突出された

人身賣買事件

名古屋工場實態調査
地元監督署に依賴

（既報）平勞基署では去る十一日來荒谷監督官を派し前借二千円で名古屋方面の某工場に賣子敏一君（一六）を賣つた湯本町三函土工佐藤留七せん及び關係者の取調べを行つていたが、仲介人は全町三函無職田澤吉江（四二）とわかつたが田澤はこのほかにも同町原田和代君（一四）も賣買したことを自認しているもののあくまでも家庭の窮狀をみるにしのびず同情をよせて世話してやつたまでゞ親元も諒解しているとおり惡質仲介者とは異つているが禮金として百円ずつもらつたことがわかつた、なお兩親元からは、子供は家にいるより工場で働いた方が幸福だといつているから引戾さないようにと懇願している、しかし法規上ゆるされぬので一應賣られ先の名古屋市西日寺町小關ヘケ工場の實態調査方を全地監督署に依賴したが、親元や仲介人は同情すべき點もあるが小關ヘケ工場に對しては生活の弱身につけこんで長期勞働に束縛していることは明らかに勞基法違反であるとしている

【映畫】新妻會議
◇14日世界館◇

作曲家志望の山井（若原雅夫）の妻圭子（山根壽子）は苦しい生活をまかなうためにダンサーになつて働くが夫の唯一つのたのみのピアノも賣拂わねばならなくなつた圭子は云いよつてくる某會社の重役の汐野（德大寺伸）に頼み夫を汐野の會社に勸めさせてもらうがピアノ欲しさに會社の金を橫領してしまつた汐野は圭子の學友登志（月丘夢路）の夫であると解りお互に驚くが汐野は山井の罪を默認する代りに圭子の貞操を求めてきた。今一人の學友桐枝（淺田百合子）は三人の中で一番悲運のどん底にゐた、それは婚約者が結婚を前に戰死し桐枝はその男のたねを宿してゐた彼女に同情した婚約者の弟である小西良一（伊澤一郎）は桐枝に同情して自活の道を開いてやるがいつしか良一と桐枝の間には戀の花が咲いていた物質的に惠まれ三人の中で最も幸福であるとみられる登志の家で不幸のどん底から幸福の絕頂にある桐枝と愛する夫の爲に死の決意を胸に祕める圭子との三人が「新妻會議」と呼ぶ娛しい會を催す夜疑獄事件に連坐した登志の夫汐野に拘引狀を示して警察の人々が門前に立つていた女性三人がたどる三様の明暗の道、果して誰が一番幸福であつたか、ヒューマニスト作家千葉泰樹の東橫映畫初演出で部分的に天然色フイルムを使用している問題の女性篇

腕時計盜んで

湯本町吹谷土工加藤昌夫（二二）及び全町淺貝無職（一九）の二人は九日夕六時頃全町天王崎時計商小野寺さん方陳列台から腕時計一ケ（四千円相當）を窃取した處を小野寺さんに發見されて御用

平館上映
滿々たる大利根の流れを挾んで
對立する遊俠の群！
監督　大曾根辰夫
☆キャスト
金藏（實は飯山金四郎）……長谷川一夫
ひよつとこの半次……坂東好太郎
與吉……高田浩吉
お榮……木暮實千代
飯岡助五郎……山村聰
笹川の繁藏……永田光男
のらくら舘の仙太……岸井明
鶴吉……森川信
源兵衛……村田雅夫
遊藝人の夫婦……澤村謙
（キングレコード）照菊
天保水滸傳
遊俠の群れ
15日から
十一年ぶりで古巢の松竹下加茂映畫に出演する
長谷川一夫獨壇上の大活劇篇
是非お見落しないように……

內科
外科
小兒科
金成醫院
平市鍛冶町電八二六
醫師　諸橋一郎

日本サーカス
半額優待券
（三十円）（子供十五円）
愛讀者慰安
いわき民報社

日本サーカス
半額優待券
（三十円）（子供十五円）
愛讀者慰安
いわき民報社

待望！JAPANバーゲシブックを誇る
三大サーカスの最高峰
日本サーカス
サーカスの女王有田勝子外70餘名大擧來演
毎日午前九時ヨリ
十五日まで　於平市三丁目
（公劇興行社提供）

買入と販賣
洋服とキモノ
鈴藤
田町
井坂醫院前
電話93番
商店
銀座通り

14日より
戰後初めて東橫企劃
パートカラー天然色映畫
三人の女性に嵐がはらみ
結婚の生態をかもし出す
新妻會議
主演
德大寺伸　山根壽子
若原雅夫　月丘夢路
伊澤一郎　淺田百合子
世界館　電58番